

政文研だより

発行 2025.8月

一般社団法人
神奈川政経文化研究会

「街ガチャin平塚」追加販売決定！

7月1日（火）から発売した「街ガチャin平塚」は、大変好評につき、発売から4日で完売しました。

予想を超える速さで完売となったため、2,000個の追加生産を行い販売することになりました。追加生産にあたりキーホルダーのデザインと設置場所、販売方法などの変更はありません。

◆販売開始日：令和7年8月7日（木）
売切れ次第終了

◆販売個数：2,000個
（10種類、各200個ずつ）

問い合わせ先 一般社団法人平塚市観光協会
電話 0463-20-5110



平塚市の歴史（軍都への道）

平塚への軍需工場の進出は、大正8年（1919）の海軍火薬廠の開設に始まります。その後大正12年には、海軍技術研究所研究部が開設。そして、戦争の激化にともない昭和12年（1937）に日本航空工業（日本国際航空工業）、同16年に横須賀海軍工廠造兵部工場、同17年に横須賀海軍工廠造機部工場と第二海軍航空廠が開設されました。

また、民間軍需工場には、二荒航空工業や近江航空工業もあり、海軍兵器工場や航空技術開発の研究機関と工場が集中する都市に発展しました。



※当時のコンクリートの塀をそのまま利用している例 この場所は、火薬廠に隣接していた海軍技術研究所化学研究部の塀(火薬廠の跡地にも同様のものが現在も点在している)

一般社団法人 神奈川政経文化研究会 会員の皆様へ

令和7年8月号 代表理事メッセージ

拝啓 立秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、一般社団法人 神奈川政経文化研究会の活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、世界情勢は依然として不安定な局面が続いております。ウクライナや中東における紛争の長期化、台湾海峡を巡る米中対立の深刻化、さらにAIや半導体、サイバー空間をめぐる各国間の覇権争いは激しさを増しております。経済安全保障の強化が国際的な共通課題となる中、日本もまた、外交・防衛・経済の各分野で、主体的な戦略構築が急務となっております。

そうした中で、7月に行われた参議院議員選挙は、まさに私たち有権者の意思と責任が問われた政治の節目となりました。若者の政治離れが叫ばれる一方で、将来の日本の進路を見定めるには、今こそ「知ること・語ること・選ぶこと」が一人ひとりに求められています。私たち政経文化研究会としても、単なる批評家ではなく、地域から政策を提言しうる存在でありたいと願っています。

このような思いのもと、来る9月20日（予定）には、衆議院議員・河野太郎氏をお招きし、講演会を企画しております。神奈川を地盤とする河野氏の長年の政治経験、外交・規制改革・エネルギー政策などに関する見識は、時代を読み解く上で極めて有益であり、まさに今、耳を傾けるべき内容と確信しております。詳細については、追ってご案内申し上げますので、ぜひ多くの皆様にご参加いただければと存じます。

変化の激しい時代にあって、私たちは「学び」と「対話」を通じて、地域と国の未来を見据える志の輪を広げてまいります。今後とも、一般社団法人 神奈川政経文化研究会の活動にご注目とご参加を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

敬具

令和7年 8月

一般社団法人
神奈川政経文化研究会
代表理事 今村佳広



編集後記

今号も、お読みいただきましてありがとうございます。

夏の風物詩といえば、やはり花火大会。今年も多くの人々が楽しみにしていた中、残念ながら一部の花火大会は事故の影響で中止となりました。

一方で、平塚では予定通り花火大会が開催され、多くの来場者が夜空に広がる光の芸術に見入っていました。打ち上がるたびにあがる歓声と笑顔は、今年も夏が良いものだと思わせてくれるものでした。

どこか不安定な気候や社会の空気の中でも、変わらずに季節を感じられる瞬間は貴重です。こうしたひとときを大切にしながら、残りの夏も穏やかに過ごしていきたいですね。

まだまだ暑さの厳しい日が続きますが、皆さまどうかご自愛ください。

今後、ご希望の勉強会などございましたら、ご意見をお待ちしております。

一般社団法人
神奈川政経文化研究会
事務局 山口 尚子

※5月に、継続のお願いの便りをメールにてご連絡いたしました。よろしくお願ひいたします。



第30号政文研
だより
お楽しみに♪